

第71回関東大学女子バスケットボールリーグ戦開催方法

関東大学女子バスケットボール連盟 競技部

1. コンセプト

今大会は、2019年度以前と同様、順位を決定する。

新型コロナウイルス感染に起因したトラブル、台風などの天候による試合延期などの場合には、日程調整を行うことがある。

首都圏の感染拡大がピークを越え、減少傾向となつて収束の見通しがたった段階で開催するという方針で、緊急事態宣言、実効再生産数を視野に入れつつ開催・継続の可否を判断していく。

各チームにおいては、「JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン（手引き）」（第3版；2021年1月20日）を熟読・参照し、クラスターが発生しないよう取り組んでいただきたい。特に、チーム内で陽性反応や濃厚接触者、体調不良者がでた場合は、同手引き12ページ、14ページ、16ページのフローを参照し、対応をお願いしたい。

2. 大会開催までの日程

～7/9 大会参加申し込み締め切り

7/14 全体委員会・4部抽選会・大会出場辞退締め切り

ここまでに大会出場を取りやめた場合「辞退」となる。

これ以降に試合参加を取りやめた場合「棄権」となり、不戦敗となる。

3. 大会日程・大会方式（新型コロナウイルス対応）について

新型コロナウイルスの急速な感染拡大により、緊急事態宣言が発令・延長・拡大された。

8/23時点では感染拡大収束の兆しは見えず、柔軟な対応が必要とされることから、以下のよう定める。

1) 8/29までに実効再生産数が減少傾向となり、緊急事態宣言の期限が9/12までの場合

① 1部・2部 9/18開幕 1回戦総当たりとする。

② 3部 9/26開幕 2次リーグは順位別リーグ戦とする。

③ 4部 9/26開幕 優勝決定トーナメント戦、5-8位決定トーナメント戦を行う。

2) 9/12までに実効再生産数が減少傾向となり、緊急事態宣言の期限が9/13～9/26である場合

① 1部・2部 10/2開幕 11/7閉幕 1回戦総当たりとする。

② 3部 10/9開幕 2次リーグは順位別リーグ戦とする。

③ 4部 10/9開幕 優勝決定トーナメント戦、5-8位決定トーナメント戦を行う。

3) 緊急事態宣言の期限が9/27以降である場合

第71回リーグ戦開催を断念し、代替大会を検討する。

4. 入替戦について

本年度に限り、入替戦は行わない。

各ブロック上位チームを自動昇格とし、降格は行わない。

昇格チーム数は以下の通りとする。

2部A・2部B 2チーム

3部・4部 4チーム

5. ブロック編成

- 1) 1部・2部は例年通り
- 2) 3部は休止チーム・脱退チームが出たため4部より2019年度の順位に従って繰り上げる。なお、24校中1校不参加のため23チームで編成する。
- 3) 4部は参加チーム数によりブロック編成を検討する。

今年度(2021年度)参加は31チームで4ブロック編成とする。

原則：参加チーム数とブロック数

24チーム以下 3ブロック

25～32チーム 4ブロック

33～40チーム 5ブロック

41チーム以上 6ブロック

6. 試合が延期になる場合

気象状況などのやむを得ない事情で日程が消化できない場合は当該日程のみ延期とする。

7. やむを得ない事情で消化できない試合が生じた場合

- 1) チームが大学当局から大会参加を見合わせるよう指示が出ることや、チーム内に新型コロナウイルス感染陽性者が出るなどで、保健所などから活動休止要請が出るなどのやむを得ない事情で試合参加ができなくなった場合は棄権(但し、棄権校には勝ち点1、対戦校には勝ち点2を付与する)とする。
- 2) 開幕後に上記のような理由で試合を棄権するチームが同一ブロック内チームの30%を超えた場合、そのブロックは順位をつけない。

8. 大会が中止になる場合

- ① 政府より「県境を越える移動が制限される」「外出禁止」など大会続行不可能な措置が講じられた場合。
- ② 体育館の使用が認められず、日程が消化できない場合。
- ③ 感染が拡大する、災害により交通機関の重大なトラブルが発生するなど、参加者の安全が確保できないと判断する場合。
- ④ 大会役員の中で陽性者が複数発生し、大会継続が困難になった場合。
 - ・ 大会開幕前に中止になった場合、次年度2022年度は2019年度と同じ順位で行う。(ただし、休止校、脱退校が出た場合はこの限りではない。)
 - ・ 1部・2部では1巡目終了前、3・4部では1次リーグ終了前に中止になった場合は順位をつけない。1巡目終了後に中止になった場合は1巡目の結果をもって順位を決定する。

大会の中止・継続・試合方式の変更は臨時理事会を招集して決定する。

9. 会場への入場について

- 1) チームメンバー

選手 15 名 スタッフ 7 名（ベンチ入りメンバー 22 名）

コンディショニングスタッフ 2 名、ビデオスタッフ 2 名、学連手伝い 2 名、

TO/FW 要員 4 名の最大 32 名とする。

ただし、会場に人数制限がある場合、選手・ベンチ入りメンバー以外はこの限りではない。

2) チームメンバー以外の関係者

スペースがあり、動線が確保できる会場についてのみチームメンバー以外の関係者の来場を認める。原則、会場に人数制限があるなどの状況では来場を認めない。

<来場を認める場合>

① 各チーム 20 名まで認める

② チームは来場者名簿を提出し、来場の管理はチームで行う。

来場者は試合開始 10 分前までに来場し、手指消毒、体温測定を行い、マスク着用。決められた場所で観戦する。声援は禁止。

※チームメンバー以外の関係者の入場が制限される会場は事前に通達する。

3) スカウティングスタッフ

スペースがあり、会場の状況が許せば以下のスカウティングスタッフの来場を認める。

① 1 面につきビデオスタッフ 2 名（2 面で行う場合は 4 名）

② エントリーしている指導者

10. チームに感染者、濃厚接書者が出た場合

① チームは速やかに学連に報告すること。

② 学連は聞き取り、報告書を作成、感染対策チーム会議を招集し対応を協議し、JBA・本連盟ガイドラインに沿って対処する。

11. メディカルタイムアウト

今年度は行わない。

以上